

# 巨匠フェドセーエフ

チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ  
(旧モスクワ放送交響楽団)



ワディム・レーピン  
*Vadim Repin*

ウラディーミル・フェドセーエフ  
*Vladimir Fedoseyev*

被爆70年の広島から、平和の祈りを旋律に込めて...

## 広島平和チャリティーコンサート2015

5月27日(水) 19:00開演 (18:20開場) 広島文化学園HBGホール  
〒730-8787 広島市中区加古町3-3

ロシアの真髄を余すことなく伝えるチャイコフスキー名曲プログラム

弦楽セレナーデ Op.48 (広島交響楽団有志との共演) *Tchaikovsky: Serenade for Strings in Cdur Op.48*

瞑想曲 Op.72 No.5 (ヴァイオリンソロ:レーピン) *Tchaikovsky: Meditation Op.72 No.5*

交響曲第6番「悲愴」 Op.74 *Tchaikovsky: Symphony No.6 「Pathétique」 Op.74*

○入場料(全席指定):一般席 5,000円 学生席 2,000円(学生席は文化交流会館のみで取り扱い、席数に制限あり)

○チケットお申し込み:エディオン広島本店・広島市文化交流会館フロント

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。※開演時間に遅られた場合、入場に制限がございます。

主催/広島平和チャリティーコンサート2015実行委員会

共催/広島市文化交流会館指定管理者広島アートウインド運営企業体(代表企業 Fun Space株式会社)・中国新聞社

協力/公益社団法人広島交響楽協会・株式会社AMATI 後援/広島県・広島市・広島商工会議所・NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送

○お問い合わせ/広島市文化交流会館 TEL:082-243-8488

※このコンサートの収益金より広島市を通じ被爆関連施設、豪雨災害への寄付を行います。

# 被爆70年、広島から世界へ奏でる平和のシンフォニー。

「いつか広島のために演奏したい」

世界が誇る指揮者フェドセーエフ氏のこのような想いから今回のチャリティーコンサートは実現しました。その想いに共感したヴァイオリニストのレーピン、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ(旧モスクワ放送交響楽団)とともに、広島交響楽団の有志も参加。被爆70年の節目に、平和の祈りを込めた特別なクラシックコンサートをお届けします。



## ウラディーミル・フェドセーエフ *Vladimir Fedoseyev*

指揮者

1932年レニングラード(現サンクトペテルブルグ)生まれ。地元のムソルグスキー学校で音楽の教育を受けたのち、モスクワのグネーシン音楽アカデミー及びモスクワのチャイコフスキー音楽院のレオ・ギンズブルグ教授のもとで学ぶ。1971年、伝説的な指揮者であるエフゲニー・ムラヴィンスキーからレニングラード・フィルハーモニー管弦楽団の客演指揮者として招かれたことをきっかけに、輝かしいキャリアがスタートした。

1974年、モスクワ放送交響楽団(チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)の音楽監督に就任。以後40年を超えるパートナーシップを築いてオーケストラをロシアのトップクラスの楽団に育て上げ、世界ツアーを通じて海外での評価を確立している。

フェドセーエフは、叙情的なロシア作品でも重厚なヨーロッパ作品においても、国民的特性を十分に引き出した演奏をすることで定評がある。ロシア以外でも、バイエルン、ケルン、シュトゥットガルトの各放送響、ベルリン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ハンブルク・フィル、フランス国立管、フランス国立放送フィル、ベルギー国

立管、チューリヒ・トーンハレ管など欧米各国、クレーヴランド、デトロイト、ピッツバーグをはじめとする北米のオーケストラにも客演。さらに1996年より東京フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者、1997年から2004年までウィーン交響楽団の首席指揮者も務め、ウィーン・ムジークフェライン・ザールや海外で大成功を収めた。オペラの分野でも精力的に活躍しており、チューリヒ歌劇場での数々のプロダクションに加えて、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、フィレンツェ5月音楽祭、ローマ歌劇場、ボローニャ歌劇場、モスクワ・ボリショイ劇場、サンクトペテルブルグ・マリンスキー劇場などの一流オペラハウスや音楽祭の指揮台上に上がっている。

また、チャイコフスキー、ムソルグスキー、リムスキー=コルサコフ、ラフマニノフ、ストラヴィンスキー、スクリャーピン、ショスタコヴィチ、ブラームス、ベートーヴェン、マーラーや、オペラ、バレエ作品など、録音も膨大な数に及んでいる。

フェドセーエフはこれまでの偉大な功績に対し、ロシア政府はもちろんオーストリア政府、ウィーン市、オーストリア・アカデミー、グスタフ・マーラー協会などから数々の賞を受賞している。

## チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ(旧モスクワ放送交響楽団) *Tchaikovsky Symphony Orchestra*

ロシアの最も輝かしいオーケストラとして知られるモスクワ放送交響楽団は、1930年に創立され、ソヴィエト・ラジオ・ネットワークの公式オーケストラとなった。アレクサンドル・オルロフが初代の音楽監督に就任。当初はコンサート形式によるオペラ音楽の演奏が中心であったが、次第に交響作品が重要な地位を占めるようになった。

創立時から、放送用の範囲を超える独自の演奏活動を展開したため、ラジオ放送のみならずコンサートホールでもその演奏を聴くことができるようになった。1974年から現在に至るまで、ウラディーミル・フェドセーエフに率いられている。歴代音楽監督は、いずれも音楽界最高の指揮者であり、オーケストラの芸術性と個性を築き上げる上で大きな功績をのこしているが、フェドセーエフの大きな特徴は、音楽に対するひたむきな献身で、「指揮者はオーケストラの流れを全身で把握し、メンバー達に完全な自由を与えている—これは第一級の巨匠のみ許される勇気である」(ハンブルク新聞、1976年)と評された。

フェドセーエフは思慮深い真摯な指揮者であり、作品に深みを与え、作曲家の意図を忠実に再現しようと努める。また古典作品に命を蘇らせるだけでなく、現代作品も進んで取り上げている。海外の批評では、オーケストラがロシア作品にとどまらず、

レパートリーの幅を広げていることが常に評価されている。1992年にはフェドセーエフの指揮で、ボンのベートーヴェン音楽祭に出演した。この音楽祭には世界最高級のオーケストラが一堂に会したが、批評家たちはマーラーの第4交響曲とベートーヴェンの第7交響曲における演奏が最高であったと絶賛した。

1993年にはロシア文化省、国際チャイコフスキー協会、チャイコフスキー博物館の任命によりチャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラに名称を改め、ロシアが誇る偉大な作曲家の音楽を世界中のコンサートホール、そして数々のレコーディングで広めるためにますます大きな役割を果たすこととなった。



## ワディム・レーピン *Vadim Repin* (賛助出演)

ヴァイオリン

音楽こそがワディム・レーピンの母国語である。そのヴァイオリンから豊かな音色のバレットを創り上げる驚くべき才能、眼も眩むばかりのテクニック、そして詩的で繊細な音楽性、世界中の聴衆を魅了してやまない真のヴィルトゥオーソである。1971年シベリア生まれ。5歳でヴァイオリンをはじめ、その6ヶ月後にはステージで初めての演奏を果たした。

11歳でヴェニチヤフスキ・コンクールで金メダルを獲得、モスクワとサンクトペテルブルクでリサイタル・デビュー。1985年には14歳にして東京、ミュンヘン、ベルリン、ヘルシンキ、翌年にはカーネギーホールにデビューしている。そしてさらに2年後、17歳でエリザベト王妃国際コンクールに優勝、その後もベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、クレーヴランド管弦楽団、スカラ・フィル

ハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロサンゼルス・フィルハーモニック、サンフランシスコ交響楽団、バリ管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団をはじめ世界のトップ・オーケストラとラトル、メータ、ムーティ、ブーレーズ、ヤンソンズ、小澤、ゲルギエフ、シャイー、アッシュケナーズ、チョン、ビシュコフ、コンロン、デュトワ、ナガノ、ドホナーニ、エッセンバッハ、フェドセーエフ、ガッティ、ユロフスキ、ロジェストヴェンスキー、ネゼ=セギャン、テミルカーノフ、ジンマン等の指揮で次々に共演、BBCプロムス、ルツェルン、ヴェルビエ、ラインガウ、ラヴィニア、タンゲルウッド、グシュタードなどトップクラスの音楽祭にも定期的に招聘されている。

## 広島交響楽団 *Hiroshima Symphony Orchestra* (賛助出演)

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国唯一の常設プロオーケストラ広響は、日本を代表する指揮者である秋山和慶が音楽監督・常任指揮者を務め、日本各地はもとより、ウィーン、プラハなど海外でも公演し好評を博している。定期演奏会などで高い芸術性を追求するほか、学校コンサートなどで音楽文化の普

及にも貢献し、年間約140回を超える演奏活動を行っている。2011年4月には公益社団法人の認可を受け、様々な社会貢献活動に励んでいる。2013年には創立50周年を迎えた。

公式ホームページ URL <http://hirokyo.or.jp>

主催 / 広島平和チャリティーコンサート2015実行委員会